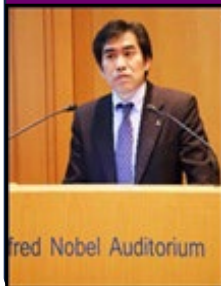


子どもの権利擁護とソーシャルワーク



【中野キャンパス】人文社会学部 人間文化学科 福祉コース 教授

田澤 茂之 Tazawa Shigeyuki

URL: [帝京平成大学 教員業績紹介ページ](#)



キーワード: 権利擁護・ソーシャルワーク・子ども家庭福祉政策・
子どもに対する暴力の防止と予防

研究の概要

SDGs 目標 16: 平和と公正をすべての人に

子どものすこやかな成長を如何に保障するかは、子ども一人ひとりの幸せにとっても、また私たちが暮らす社会の安定や発展にとっても欠くことができない事柄である。しかし、現実には、将来に対して不安を抱える子ども・若者が多くおり、若者の自殺は高止まりの状況にある。また、子ども虐待やヤングケアラーの問題、障害のある子どもの権利未保障の課題など、人権保障上の問題はなお多く存在している。

研究では、子どもの権利擁護と、子どもの権利を基盤とするソーシャルワーク実践をテーマとして、人権保障上の課題に関する実態の把握、子ども家庭福祉に関する政策や制度の在り方、困難にある子どもの保護や社会的養育の推進、子どもにやさしい地域社会の形成、並びに相談援助の実践などを対象にしている。

近年の取り組みでは、子どもの権利擁護を軸に、特に子どもに対する暴力のない社会の実現を研究のテーマとしており、暴力の実態把握、暴力の防止および予防のための施策提言、暴力を予防する教育プログラムの開発、並びに子どものすこやかな成長を支える個人および社会の在り方に関する啓発に力も入れている。



実学へのつながり・産業界や自治体へのアピールポイント・協力可能事項・協力希望事項

本研究は、子ども一人ひとりのすこやかな成長を支え、社会へ貢献できる自立した人間の形成につながるものである。また、研究が対象とする人や社会は、地域や環境によって影響を受けることから、人権という社会規範の形成を追求する一方で、異なる環境へのアプローチや対応を必要とする実践的な取り組みである。

地域および子ども家庭福祉分野における施策の検討や評価、実践に活かすことが期待できる。

知的財産・論文・学術発表など（詳細は右上 QR コードの教員紹介からご確認ください）

- ・「育児の孤立化防止に資する ICT（情報通信技術）を用いた子育て支援の可能性と効果検証」
- ・「民法改正問題-親等の懲戒権規定の見直しをめぐって」
- ・「子ども家庭福祉を担う支援者への支援についてー保育者を対象とする体罰および子どもの権利に関する現状アセスメントからの提言」